

■会員 Now

白川電気土木株式会社と風力発電事業について － 電気の一環供給めざして －

白川電気土木株式会社 風力開発部 那須田 敏弘

はじめに

当社は、昭和 29 年 7 月設立（平成 20 年 3 月第 54 期目）の電気設備工事会社です。主に電力会社の特高送電線の建設及び保守、官公庁の電気設備工事を手がけております。

当社創業者の出身地が、世界遺産の岐阜県白川郷の為“白川”を社名に頂いています。名古屋に本社を置き、東海・関西圏を中心に事業活動を展開をしております。

風力発電との出会い

当社坂本（現会長）が、清水幸丸先生（日本風力エネルギー協会元会長・三重大学名誉教授）との出会いから、常々“電気を発電から家庭まで届ける”という強い意志の中で風力発電事業に躊躇なく踏み切りました。

風力発電について何も知りませんでした。三重大学の御指導のもとに候補地を決め風況観測ポールを建てました。平成 13 年 11 月より第 1 候補地点岐阜県白川村にて風況調査を開始結果ダメ、第 2 候補地点でも期待した平均風速を得られず断念、現在の事業場所は第 3 候補地点です。平成 15 年 6 月より静岡県牧之原市（当時榛原郡相良町）にて 30m ポールにて風況観測を開始し、平成 17 年 4 月からはドップラーソーダにてさらに上空の風を精査、三重大学との共同研究にて風の解析をしました。



【AR シリーズ DopplerSODAR】

風力発電事業への取組

牧之原台地（荒茶生産量日本一のお茶処）に落居風力発電所（1,500kW×1基 GE-1.5s型）を平成 18 年 12 月に運転開始させ、現在まで長期間の停止及び機器の故障もなく、順調に稼働しています。新緑のお茶畑の中に建つ風車は霜取りファンと親子の様です。

改正建築基準法が施行された為に 1 年間遅れましたが、既存の風車の隣に、落居ウインドファーム風力発電所（2,000kW×4基 エネルコン E-82 型）を、平成 21 年 4 月営業運転に向けて現在（平成 20 年 6 月時点）風車基礎工事の準備中です。



【落居風力発電所】

あとがき

現在風力発電を取り巻く事業環境は必ずしも良好ではありませんが、風力発電事業者として、電気の一環供給を目指しつつ低炭素社会構築に向けて風車からエネルギーを貰って頑張っていきます。

御協力頂きました、三重大学工学部機械工学科エネルギー環境工学研究室及び名古屋産業大学環境経営研究所の皆様には、本誌をお借りしてお礼申し上げます。